

# 風物詩

## 太平記の歴史絵巻がいまここに 『四條躰楠公まつり』

JR四條躰駅の北側には、東西に走る一直線の参道があり、その東側には四條躰神社、西側には小楠公墓所があります。

四條躰神社や小楠公墓所には、南北朝時代（1336年～1392年）に活躍され、四條躰の合戦（1348年）で戦死した楠正行公(小楠公)が祀られています。

正行公は、湊川で討ち死した父、楠正成公の遺志を継ぎ、南朝に仕えました。

大川に落ちた敵兵を救助し、傷の手当てをしたうえで、衣服を与え国元へ帰すなど、正行公の忠孝精神と博愛精神は、四條躰市だけでなく、全国に知れ渡っており、660年経過した今日に至っても、非常に重要な教訓となっています。

この精神を改めて見つめ直すとともに、心のふれあいを呼び起こすため、地域住民が実行委員会を組織し、平成17年から『四條躰楠公まつり』を開催しています。

実行委員会では、市内事業者や市民団体などにも協力や支援を呼びかけ、手づくりによるまつりの開催に向け取り組んでいます。



まつり最大の催しは、まつり独自の囃子にあわせ、南北朝時代の武者や稚児の衣装を身にまとった子どもたちと地元青年団による楠の丸太御輿で隊列を組んだ総勢300人の大行列です。

小楠公墓所から四條躰神社までを武者に扮した子どもたちが凛々しくかつ悠然と練り歩く姿は時代をタイムスリップさせてくれます。

その他、四條躰神社では地域の子どもの踊りをはじめ、ダンスや吹奏楽の演奏、さらに近隣高校生美術部の巨大絵馬の作成など、子どもたちを中心としたまつりとなっています。

第3回目となる「四條躰楠公まつり」は3月31日、4月1日の2日間に渡り開催され、晴天にも恵まれ、多くの来場者で賑わいました。



毎年春休み期間中の日曜日（日時未定）に開催しますので、第4回四條躰楠公まつりに是非お越しください。

### ● お問い合わせ先 ●

四條躰市市民生活部産業労働観光課

TEL : 072-877-2121